

株式会社エクストランス

X-MON 3.5.0

アップデート内容

内容

アップデート内容.....	3
ダッシュボード機能改修.....	3
除外時刻設定機能改修.....	4
SNMP CPU 監視 (コア数分割) プラグインの改修.....	5
CPU 監視(コア数分割).....	5
CPU 監視(自動コア数分割).....	8
Nagios Plugins アップデート.....	8
不具合の修正.....	9
監視メニュー.....	9
サービス情報.....	9
稼働率.....	9
グラフ.....	9
VMware ハードウェア監視.....	9
管理者メニュー.....	10
監視設定.....	10
CSV 設定一括変更.....	10
カスタムグラフ.....	10
SNMP TRAP 管理.....	10
再起動.....	10

アップデート内容

XMON3.5.0 で以下の変更が追加されました。

ダッシュボード機能改修

ダッシュボード機能を改修しました。

ダッシュボードが複数作成できるようになり、ユーザは用途に応じてダッシュボードを切り替えることができます。



管理者はダッシュボードに表示したい項目（パネル）を選択し、自由に配置することができます。



ダッシュボードを閲覧できる閲覧権限ユーザ制限や、ユーザがログイン時に表示するダッシュボードを設定できます。

以下のような利用が可能です。

- 特定のホストグループの情報のみ集めたダッシュボードを作成し、指定していない閲覧権限ユーザには表示しないようにする。
- ユーザが特に関連するダッシュボードを指定し、ユーザログイン時にはそのダッシュボードが表示されるようにする。

ダッシュボードの詳しい操作手順につきましては、サポートサイトより配布しております「ダッシュボード操作マニュアル」をご覧ください。

除外時刻設定機能改修

除外時刻の日付の指定が柔軟に選択できるようになりました。

以下の設定項目が追加されています。

- 毎日
- 任意の曜日

The screenshot shows the '除外時刻設定の作成' (Create Exclusion Time) form in the X-MON interface. The form includes the following fields and controls:

- 時刻ID(英数字)**: A text input field for the time ID.
- 除外時刻名称**: A text input field for the exclusion time name.
- 日付の指定**: A dropdown menu for date selection, currently set to '毎日' (Every Day). This field is highlighted with a red box.
- 除外監視時間帯**: A range selector for the exclusion monitoring time period, currently set to '00:00-24:00'.

At the bottom of the form, there are three buttons: 'キャンセル' (Cancel), '作成' (Create), and '作成と承認' (Create and Approve).



SNMP CPU 監視 (コア数分割) プラグインの改修

X-MON3.5.0 より SNMP CPU 監視が機能追加されました。

- 機能追加対象
 - Linux CPU 監視(コア数分割)
 - Windows CPU 監視(自動コア数分割)

Linux CPU 監視(コア数分割)

v1, v2c, v3 全てのサービス監視用コマンド「CPU 監視 (コア数分割)」に [コア数取得] ボタンが追加されました。

X-MON - 管理者がログインしています。(2017-06-30 14:33:20)

★

④

✳

ホストID(英数字)
web_server

サービスID(英数字)
snmp_cpu

サービス監視用コマンド
Linux/Unix系リソース監視(SNMPv1,v2対応) ▾
CPU監視(コア数分割) ▾

SNMPバージョン	2c ▾
SNMPポート番号	161
SNMPコミュニティ名	public
ユーザCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.50.0
nice CPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.51.0
システムCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.52.0
アイドルCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.53.0
WARNINGしきい値(%)	80
CRITICALしきい値(%)	90
タイムアウト(秒)	10
コア数(個)	2

コア数取得

監視対象サーバが SNMP での通信を行える場合、HOSTRESOURCES-MIB の hrProcessorLoad (.1.3.6.1.2.1.25.3.3.1.2)で得られた値の個数をカウントし、コア数として表示を行います。

下記、青枠部分 SNMP 設定項目を通信できる情報に設定した上で[コア数取得]ボタンをクリックします。

X-MON - 管理者がログインしています。(2017-06-30 14:33:20)

★

④

✳

ホストID(英数字)
web_server

サービスID(英数字)
snmp_cpu

サービス監視用コマンド
Linux/Unix系リソース監視(SNMPv1,v2対応) ▾
CPU監視(コア数分割) ▾

SNMPバージョン	2c ▾
SNMPポート番号	161
SNMPコミュニティ名	public
ユーザCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.50.0
nice CPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.51.0
システムCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.52.0
アイドルCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.53.0
WARNINGしきい値(%)	80
CRITICALしきい値(%)	90
タイムアウト(秒)	10
コア数(個)	2

コア数取得

[コア数取得]ボタンが[取得中…] ボタンに切り替わります。

SNMP 通信にて正しくコア数を取得できた場合、以下青枠「コア数(個)」項目に取得したコア数が反映されます。



X-MON - 管理者がログインしています。(2017-06-30 14:33:20)

★
⊕
⚙

ホストID(英数字)
web_server

サービスID(英数字)
snmp_cpu

サービス監視用コマンド
Linux/Unix系リソース監視(SNMPv1,v2対応) ▾
CPU監視(コア数分割) ▾

SNMPバージョン	2c ▾
SNMPポート番号	161
SNMPコミュニティ名	public
ユーザCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.50.0
nice CPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.51.0
システムCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.52.0
アイドルCPUタイムOID	.1.3.6.1.4.1.2021.11.53.0
WARNINGしきい値(%)	80
CRITICALしきい値(%)	90
タイムアウト(秒)	10
コア数(個)	2

コア数取得

[コア数取得]ボタンをクリックしたものの、監視対象サーバと通信が行えなかった場合、[取得中...] ボタンの表示が長く続きますがそのままお待ちください。

10 秒ほどでタイムアウトします。

「コア数(個)」項目は空値が反映されますので、SNMPバージョン、SNMPポート番号、SNMPコミュニティ名に入力誤りがないかご確認の上、再度 [コア数取得] ボタンをご利用ください。

Windows CPU 監視(自動コア数分割)

サービス監視用コマンド「SNMPによるWindowsCPU監視(自動コア数分割)」が追加されました。



The screenshot shows the X-MON web interface for configuring a service. The main content area is titled "サービス監視用コマンド" (Service Monitoring Command) and contains the following configuration details:

- Host ID (English): web_server
- Service ID (English): snmp_cpu
- Service Monitoring Command: Windowsリソース監視 (selected), SNMPによるWindowsCPU監視(自動コア数分割) (selected)
- SNMP Version: 2c
- SNMP Port Number: 161
- SNMP Community Name: public
- SNMP OID: .1.3.6.1.2.1.25.3.3.1.2
- WARNING threshold (%): 80
- CRITICAL threshold (%): 90
- Timeout (seconds): 10

Below the configuration, there is a "監視テスト実行結果" (Monitoring Test Execution Result) section with two tabs: "状態" (Status) and "ステータス情報" (Status Information). The "状態" tab is active, showing "正常(OK)" (Normal/OK) and "OK - 0% used".

本監視ではHOSTRESOURCES-MIBのhrProcessorLoad(.1.3.6.1.2.1.25.3.3.1.2)で得られた値の平均値を利用しています。

Nagios Plugins アップデート

- Nagios Plugins のバージョンを更新しました。

不具合の修正

XMON3.5.0 にて、以下の不具合修正を行っております。

監視メニュー

サービス情報

- サービス情報画面の「イベントログ」タブに表示されるログに含まれるマルチバイト文字が文字化けする不具合
 - ⇒ マルチバイト文字が文字化けせず表示されるように修正。

稼働率

- ホスト ID に「.(ドット)+アルファベットの連続」が含まれる場合、該当ホストのサービスの稼働率が表示されない不具合
 - ⇒ 上記に該当するホストのサービスについても稼働率が算出されるように修正。
- ダウンタイムの期間を除外し稼働率を算出する際の、ダウンタイムに関わるイレギュラー時の処理の追加
 - ⇒ ダウンタイムをキャンセルした場合やダウンタイムを入れ子に設定した場合についても、ダウンタイムの期間を除外した稼働率が正しく算出されるように修正。

グラフ

- NRPE 経由でのディスク監視 のグラフが描画されず、グラフデータが一部欠落する不具合
 - ⇒ グラフ設定ファイルを修正し、グラフが生成されるように修正。

VMware ハードウェア監視

- RHEL6 環境の X-MON で ESXi6 のハードウェア監視が出来ない不具合
 - ⇒ RHEL6 環境の X-MON の ESXi ハードウェア監視用プラグインを RHEL7 環境の X-MON で利用している最新バージョンに上げることで、監視が取れるように修正。

管理者メニュー

監視設定

- サービスチェックの試行回数が 1 回の場合に、障害 1 回目でステータスが HARD とならない不具合
 - ⇒ Nagios の外部コマンドの発行タイミングを遅らせていたことが原因だったため、発行タイミングを遅らせず障害 1 回目で HARD となるように修正。

CSV 設定一括変更

- ホスト登録時に半角カタカナが含まれている場合、全角カタカナに置換されず登録される不具合
 - ⇒ CSV によるホスト登録時についても、管理画面と同様に半角カタカナを全角カタカナに置換するように修正。
- ホスト登録時に「監視間隔」など「0」が入力できる箇所に「0」を指定した場合、未入力項目として扱われ反映されない不具合
 - ⇒ 入力値が「0」の場合についても、登録・編集時に反映されるように修正。

カスタムグラフ

- カスタムグラフの選択項目より、NRPE 経由の監視のサービスのみを登録したホストが選択できない不具合
 - ⇒ カスタムグラフ作成時に、グラフを生成している NRPE 経由の監視についても選択できるように修正。

SNMP TRAP 管理

- 通知先グループが登録されていないサービスに対し、SNMP TRAP 管理より通知先グループを設定した任意 SNMP TRAP 通知条件を登録すると、通知先グループ情報が反映されない不具合
 - ⇒ 通知先グループが 1 件も登録されていないサービスに対しても、任意 SNMP TRAP 通知条件で指定した通知先グループが反映されるように修正。

再起動

- X-MON の再起動のタイミングで外部コマンドを受信すると nagios がハングする不具合
 - ⇒ Nagios パッケージに本不具合を解消するパッチを適用し対応。